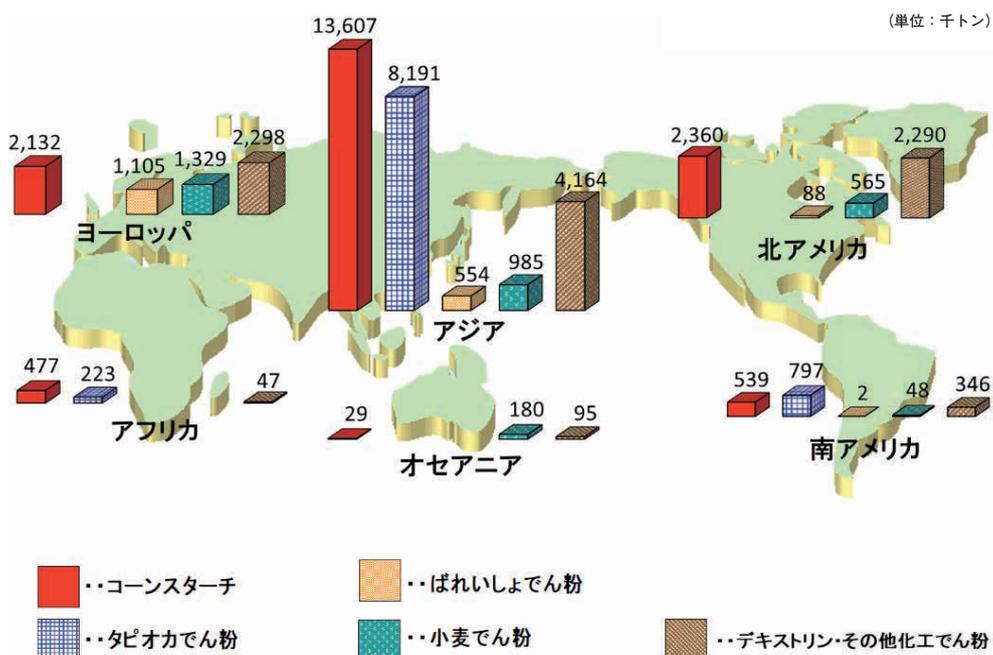


でん粉の国際需給

調査情報部 水野 崇、塩原 百合子

1. 世界のでん粉需給

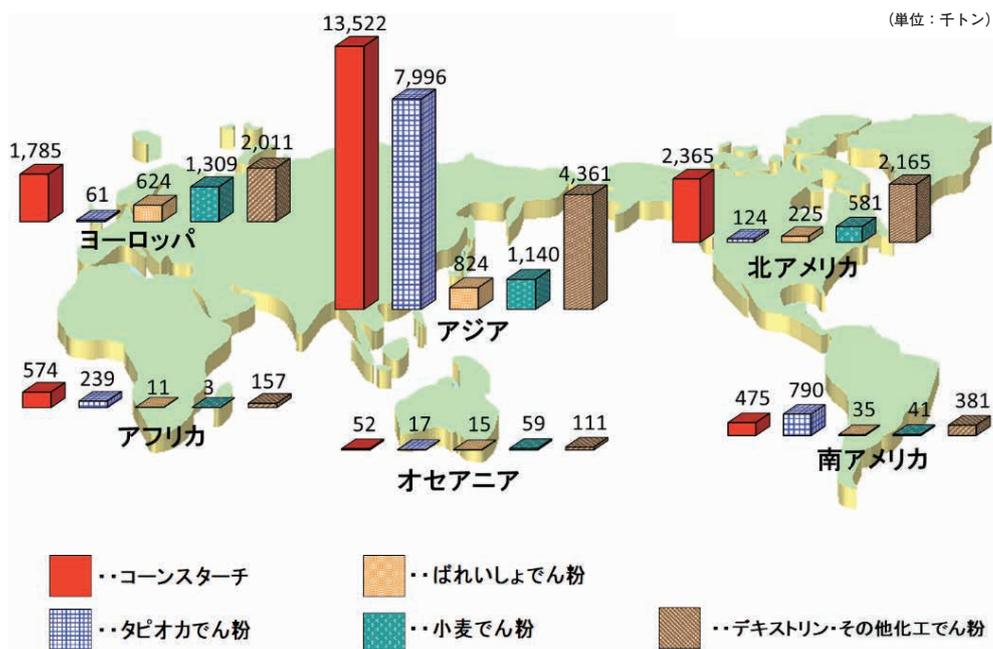
図1 絵で見る世界のでん粉生産量 (2019年)



資料: LMC International* [Global Starch Supply & Demand Research Report] を基に農畜産業振興機構作成
 (*農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量 (2019年)



資料: LMC International [Global Starch Supply & Demand Research Report] を基に農畜産業振興機構作成

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場およびキャッサバ取引価格

年・月	シカゴトウモロコシ・期近（セント/BU）			タイキャッサバ（パーツ/kg）	
	高値	安値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2019年	454.75	340.75	383.21	1.89	6.30
2020年	484.00	302.75	363.31	1.80	6.52
2020年 7月	351.25	315.50	331.93	1.64	6.39
8	348.50	307.75	325.15	1.73	7.00
9	379.00	344.50	362.38	1.76	7.09
10	419.25	379.50	398.90	1.74	7.13
11	426.50	397.50	415.59	1.85	7.28
12	484.00	414.75	435.47	2.05	7.21
2021年 1月	547.00	483.75	515.39	2.03	6.64
2	563.75	534.50	549.97	2.07	6.80
3	565.00	539.25	552.80	2.13	7.06
4	740.00	553.25	616.07	2.08	7.09
5	772.75	620.25	697.39	1.92	7.09
6	720.00	633.00	672.41	1.91	7.31
7	719.75	547.00	605.08		7.52

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：1 ブッシェル（BU）は約 25.401 キログラム。

注2：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2021年7月末日TTS相場の値であり、1米ドル=110円（110.49円）、1タイバーツ=3.41円、1ユーロ=132円（131.61円）である。

トウモロコシ・コーンスターチ

世界

【需給動向：トウモロコシ】

2021/22年度の世界のトウモロコシ生産量、前年度からかなりの程度増加する見込み

米国農務省世界農業観測ボード(USDA/WAOB)および米国農務省海外農業局(USDA/FAS)は2021年8月12日、2021/22年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した(表2)。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は前回から868万トン下方修正され、11億8612万トン(前年度比6.3%増、前月比0.7%減)と予測された。国別に見るとブラジル(前年度比35.6%増)およびウクライナ(同28.7%増)では記録的な生産増が予測され、米国(同4.0%増)、アルゼンチン(同5.2%増)および中国(同2.8%増)でも過去最高水準に近い生産が見込まれている。

輸出量は、世界全体で1億9785万トン(同10.8%

増、同0.5%減)と前回からわずかに下方修正された。国別に見るとブラジル(前年度比87.0%増)とウクライナ(同36.2%増)で大幅な増加が見込まれるものの、米国(同13.5%減)はこれら輸出国との競合により減少が見込まれている。

輸入量は、世界全体で1億8461万トン(同0.2%増、同1.6%減)と前回からわずかに下方修正された。国別に見ると、主要輸入国である中国は2600万トンと前年度から変わらないものの、引き続き高水準での推移が見込まれている。

消費量は123万トン下方修正されたものの、11億8224万トン(同3.6%増、同0.1%減)と前年度から増加が見込まれている。消費大国であるブラジル(前年度比7.4%増)および中国(同1.7%増)などで増加するものの、米国ではほぼ横ばい(同0.1%増)と見込まれている。

期末在庫は、2021/22年度の生産量の下方修正などに伴い、前月から2.2%減の2億8463万トン(同1.4%増)と見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し（2021年8月12日米国農務省公表）

（単位：百万トン）

国名	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
			(7月予測)	(8月予測)	前年度比 (増減率)
米 国					
期首在庫	56.41	48.76	27.48	28.37	▲ 41.8%
生産量	345.96	360.25	385.21	374.68	4.0%
輸入量	1.06	0.64	0.64	0.64	-
消費量	309.55	310.78	313.45	311.16	0.1%
輸出量	45.13	70.49	63.50	60.96	▲ 13.5%
期末在庫	48.76	28.37	36.37	31.56	11.2%
アルゼンチン					
期首在庫	2.37	3.62	2.12	1.92	▲ 47.0%
生産量	51.00	48.50	51.00	51.00	5.2%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	-
消費量	13.50	13.70	14.50	14.50	5.8%
輸出量	36.25	36.50	36.00	36.00	▲ 1.4%
期末在庫	3.62	1.92	2.63	2.43	26.6%
ブラジル					
期首在庫	5.31	5.23	5.23	4.73	▲ 9.6%
生産量	102.00	87.00	118.00	118.00	35.6%
輸入量	1.65	3.50	1.70	1.70	▲ 51.4%
消費量	68.50	68.00	73.00	73.00	7.4%
輸出量	35.23	23.00	43.00	43.00	87.0%
期末在庫	5.23	4.73	8.93	8.43	78.2%
ウクライナ					
期首在庫	0.89	1.48	0.89	0.89	▲ 39.9%
生産量	35.89	30.30	37.50	39.00	28.7%
輸入量	0.03	0.02	0.02	0.02	-
消費量	6.40	7.40	6.80	6.80	▲ 8.1%
輸出量	28.93	23.50	30.50	32.00	36.2%
期末在庫	1.48	0.89	1.11	1.11	24.7%
中 国					
期首在庫	210.16	200.53	198.18	198.18	▲ 1.2%
生産量	260.78	260.67	268.00	268.00	2.8%
輸入量	7.60	26.00	26.00	26.00	-
消費量	278.00	289.00	294.00	294.00	1.7%
輸出量	0.01	0.02	0.02	0.02	-
期末在庫	200.53	198.18	198.16	198.16	▲ 0.0%
世界計					
期首在庫	322.56	306.26	279.86	280.75	▲ 8.3%
生産量	1,118.56	1,115.41	1,194.80	1,186.12	6.3%
輸入量	167.59	184.21	187.66	184.61	0.2%
消費量	1,134.86	1,140.92	1,183.47	1,182.24	3.6%
輸出量	172.40	178.50	198.84	197.85	10.8%
期末在庫	306.26	280.75	291.18	284.63	1.4%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注：各国の穀物年度 世界、米国：9月～翌8月／ウクライナ、中国：10月～翌9月／アルゼンチン、ブラジル：3月～翌2月。

米 国

【需給、価格動向：トウモロコシ】

2021/22年度の米国トウモロコシ期末在庫率、8%台の見込み

USDA/WAOBは2021年8月12日、2021/22年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、同国のトウモロコシ需給見通しは次の通りである（表3）。

生産量は作付面積や単収の増加を受けて147億5000万ブッシェル（3億7466万トン^{（注）}、前年度比4.0%増）と予測されており、前月からわずかに下方修正されたものの、これまでの統計で最も生産量の多かった2016/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）に近い水準となっている。

消費量は飼料向けなどの需要がわずかに下方修正され、全体では122億5000万ブッシェル（3億1116万トン、同0.1%増）と予測された。

輸出量は生産量の下方修正に伴い前月から1億ブッシェル引き下げられ、24億ブッシェル（6096万トン、同13.5%減）と記録的な輸出量となった前年度からかなり大きく減少すると予測された。

期末在庫は、総供給量の下方修正を受けて前月から1億9000万ブッシェル引き下げられ、12億4200万ブッシェル（3155万トン、同11.2%増）と予測された。その結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は前月から1.1ポイント減の8.5%（同1.1ポイント増）となった。

また、生産者平均販売価格はわずかに上方修正され、1ブッシェル当たり5.75米ドル（633円。1キログラム当たり24.9円）と予測された。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2021年8月12日米国農務省公表）

区 分	—単位—	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度			
				(7月予測)	(8月予測)	参考(換算値)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	89.7	90.8	92.7	92.7	37.5(百万ヘクタール)	2.1%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	82.5	84.5	84.5	34.2(百万ヘクタール)	2.4%
単収	(ブッシェル/エーカー)	167.5	172.0	179.5	174.6	11.0(トン/ヘクタール)	1.5%
生産量	(百万ブッシェル)	13,620	14,182	15,165	14,750	374.66(百万トン)	4.0%
輸入量	(百万ブッシェル)	42	25	25	25	0.64(百万トン)	-
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,919	1,082	1,117	28.37(百万トン)	▲41.8%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,883	16,127	16,272	15,892	403.67(百万トン)	▲1.5%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,186	12,235	12,340	12,250	311.16(百万トン)	0.1%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,900	5,725	5,725	5,625	142.88(百万トン)	▲1.7%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,286	6,510	6,615	6,625	168.28(百万トン)	1.8%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	4,857	5,075	5,200	5,200	132.09(百万トン)	2.5%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,777	2,775	2,500	2,400	60.96(百万トン)	▲13.5%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,963	15,010	14,840	14,650	372.12(百万トン)	▲2.4%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,919	1,117	1,432	1,242	31.55(百万トン)	11.2%
期末在庫率	(%)	13.7	7.4	9.6	8.5		1.1ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.56	4.40	5.60	5.75	24.9(円/kg)	30.7%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は9月～翌8月。

注2：1エーカーは約0.4047ヘクタール。

【貿易動向：トウモロコシ】

5月の輸出量は前年同月から大幅に増加するも、前月並みで推移

2021年5月のトウモロコシ輸出量は、849万2750トン(前年同月比51.2%増、前月比0.3%減)と前年同月から大幅に増加したものの、前月並みとなった。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格(FAS^(注))は、1トン当たり278.7米ドル(3万657円、同64.3%高、同5.5%高)と前年同月からは大幅に、前月からはやや上昇し、過去1年の最安値(2020年8月)と比べ67.0%の上昇となった。

(注) Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる(FOB価格から横持ち料(倉庫間の移動費)、積み込み料、保険料などを差し引いた)価格。

表4 米国のトウモロコシ輸出量(5月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	8,492,750	51.2%	▲0.3%
うち 中国 ^(注3)	3,407,693	26.3倍	33.6%
メキシコ	1,817,244	40.3%	10.5%
日本	1,090,664	▲22.0%	▲26.1%
韓国	565,144	▲16.8%	▲37.3%
コロンビア	523,068	8.1%	74.9%
カナダ	184,246	17.2%	16.2%

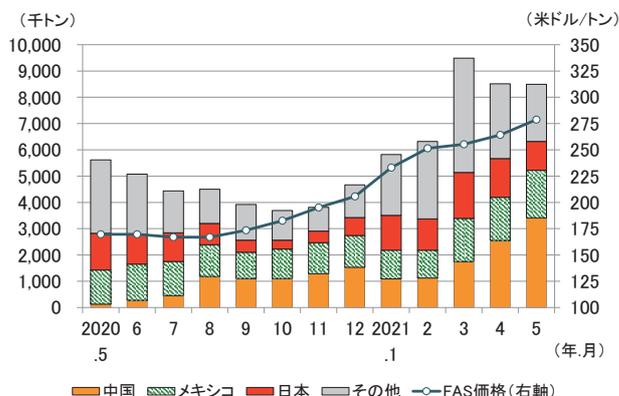
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：2020年は中国でアフリカ豚熱の回復から飼料用トウモロコシの需要が高まっていることなどから、中国の米国産トウモロコシの輸入量が前年と比較して、大幅に増加している状況となっている。

(参考) 米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。

【貿易動向：コーンスターチ】

5月の輸出量は前年同月および前月から大幅に増加

2021年5月のコーンスターチ輸出量は、1万6834トン(前年同月比38.1%増、前月比16.2%増)と前年同月および前月から大幅に増加した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格(FAS)は、1トン当たり609.5米ドル(6万7045円、同5.8%安、同5.7%安)と前年同月および前月からやや下落した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量(5月)

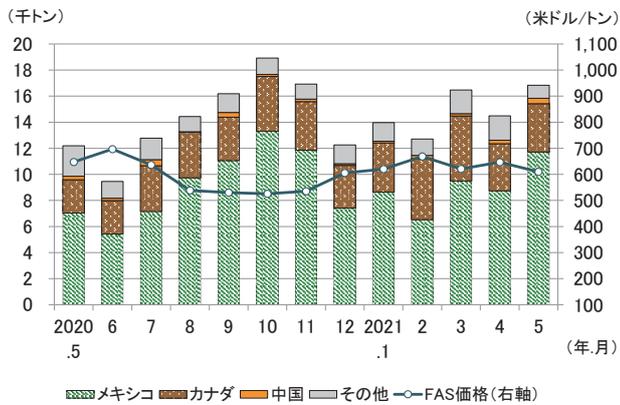
輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	16,834	38.1%	16.2%
うち メキシコ	11,715	66.7%	34.2%
カナダ	3,700	44.9%	2.3%
中国	420	53.8%	52.7%
台湾	133	3.3倍	3.1倍
豪州	111	▲45.6%	▲51.9%
英国	84	▲27.0%	▲24.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出货量および輸出価格の推移



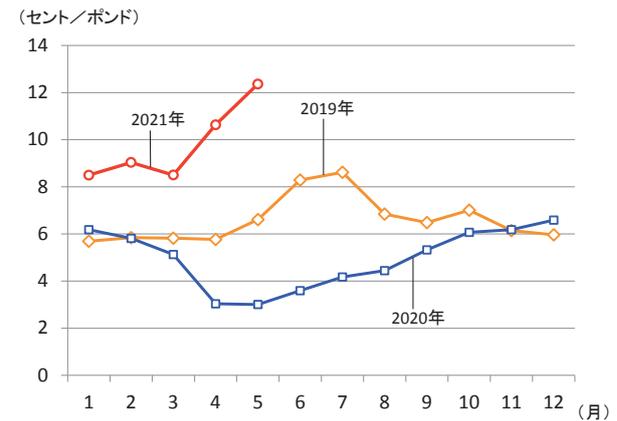
資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1108.12
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出货量（累計）上位3カ国を表示。

なお、米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における2021年5月の製粉業者の純費用は、トウモロコシ価格の上昇などを要因に1ポンド（注）当たり12.36セント（13.6円、前年同月比4.1倍、前月

比16.3%高）と前年同月および前月から大幅に上昇した。

（注）1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



資料：USDA/ERS
 注：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。
 なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

2020/21年度のキャッサバ生産量は前年度からかなりの程度増加する見込み

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の2021年7月現在の予測によると、2020/21年度（10

月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は951万ライ（152万ヘクタール（注）、前年度比6.6%増、前月比3.8%増）、単収は1ライ当たり3.33トン（同2.5%増、同1.2%増）、生産量は3163万トン（同9.1%増、同5.0%増）と見込まれている（表6）。

（注）1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	一単位一	2018/19年度	2019/20年度 (推計値)	2020/21年度		
				(6月予測)	(7月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	867	892	916	951	6.6%
単収	(トン/ライ)	3.59	3.25	3.29	3.33	2.5%
生産量	(万トン)	3,108	2,900	3,011	3,163	9.1%

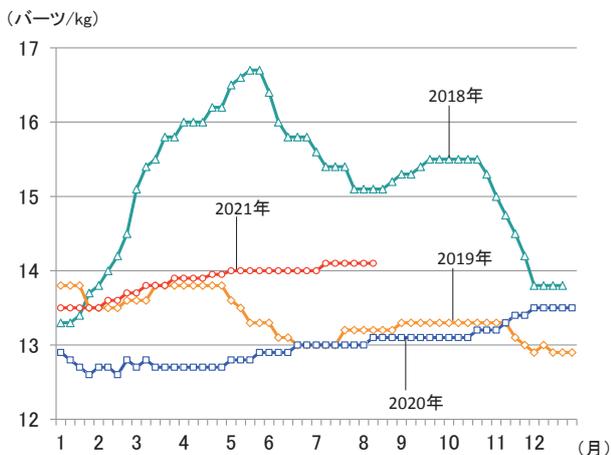
資料：OAE『農業経済2021年7月』
 注：年度は、10月～翌9月。

【価格動向】

国内価格、前年同期からかなりの程度上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2021年8月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり14.1バーツ（48円、前年同期比7.6%高、前週同）と前年同期からはかなりの程度上昇したものの、前週と同程度であった（図3）。2020年以降、価格は上昇傾向で推移している。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注：当該週の原則火曜日の価格。

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月から大幅に、前月からはやや増加

2021年6月のタピオカでん粉輸出量は、25万337トン（前年同月比58.8%増、前月比4.8%増）と、前年同月から大幅に、前月からはやや増加した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり485.0米ドル（5万3350円、同10.2%高、前月同）と、前年同月からかなりの程度上昇した。

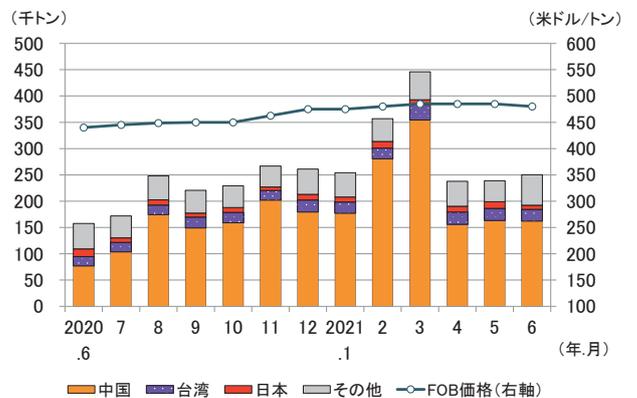
タイ商務省によると、2021年上半期の輸出は、世界経済の回復やタイバーツ安などが後押しし、堅調に推移した。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	250,337	58.8%	4.8%
うち 中国	162,102	2.1倍	▲0.8%
台湾	22,218	25.7%	▲3.2%
米国	16,634	2.1倍	5.0倍
マレーシア	8,933	▲12.1%	29.2%
日本	8,159	▲44.4%	▲35.8%
フィリピン	7,837	▲3.0%	5.8%

資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考） タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。
注3：価格はバンコクのFOB価格。

ベトナム

【生産動向】

主産地のザライ省やタイニン省でキャッサバの作付けを終える

ベトナムの調査会社（AgroMonitor）によると、同国第1位のキャッサバ作付面積を誇るザライ省では、6月中旬までに、2021/22年度のキャッサバの作付けを終えており、作付面積は、前年度から10%程度減少して6万1740ヘクタールと予測された。減少理由として、サトウキビが高値で取引され、高収量が期待されることから、サトウキビへの転作が進んだためとしている。また、第2位のキャッサバ作付面積を誇るタイニン省では、6月上旬まで

にほぼ作付け作業が終了しており、作付面積は、合計6万2000ヘクタールと推測されている。

なお、キャッサバモザイク病^(注1)は6月21日現在、依然として状況は改善されず、中央直轄5都市および58省のうち、1市18省（前月比1省減）の合計7万60ヘクタールで感染が確認され、前月（5月30日）から微減した^(注2)。

(注1) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最終的には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカンボジアの一部で流行が確認されている。

(注2) 同国におけるキャッサバの作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタール程度で推移している。

【貿易動向】

6月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からわずかに増加

AgroMonitorによると、2021年6月のタピオカでん粉輸出量は、14万3070トン（前年同月比39.9%増、前月比2.2%増）と前年同月から大幅に、前月からはわずかに増加した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

同月の輸出価格（CFR・中国向け）は、1トン当たり482米ドル（5万3020円、同25.8%高、同1.9%高）と、前年同月から大幅に、前月からわずかに上昇した。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	143,070	39.9%	2.2%
うち 中国	138,006	44.7%	3.2%
台湾	2,017	▲36.7%	▲28.9%
フィリピン	995	42.3%	▲1.7%
パキスタン	493	NA	3.6%
シンガポール	328	9.1倍	8.4倍
バングラデシュ	198	▲65.3%	▲34.9%

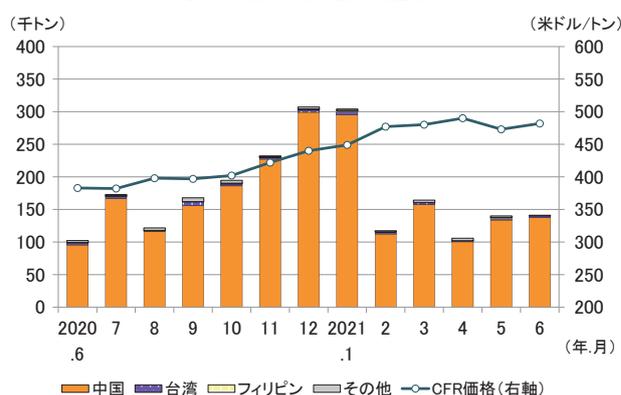
資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「NA」は事実不明なもの。

(参考) ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR価格。（※ Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い。）

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

5月の輸出量、前年同月から大幅に、前月からやや増加

2021年5月のばれいしょでん粉輸出量^(注)は、

3万3719トン（前年同月比25.7%増、前月比5.2%増）と前年同月から大幅に、前月からやや増加した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり529ユーロ（6万9828円、同23.2%安、同8.2%安）と前年同月からは大幅に、前月からはかなりの

程度下落した。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（5月）

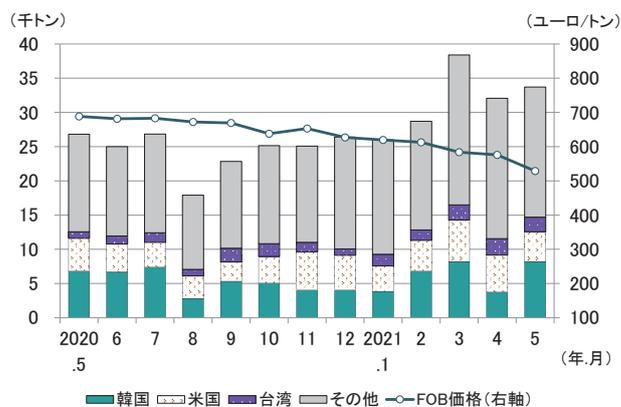
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	33,719	25.7%	5.2%
うち 韓国	8,222	19.8%	2.2倍
米国	4,335	▲8.6%	▲18.8%
台湾	2,127	2.2倍	▲11.9%
ペルー	1,625	42.4%	56.1%
英国	1,601	82.6%	20.5%
中国	1,586	3.6倍	▲52.2%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

コラム 欧州主要国のでん粉原料用ばれいしょ生産動向 —デンマークおよびフランス編—

1. デンマーク

デンマーク統計局によると、2016年以降、でん粉原料用ばれいしょの作付面積は増加傾向にあり、2020年のでん粉原料用ばれいしょの作付面積は5万7000ヘクタール（前年比46.2%増）、生産量は264万トン（同56.4%増）とともに大幅に増加した（コラム表）。欧州委員会の共同研究センター（JRC）の作物観測データによると、2020年の生産について同国では、同年3月中旬から4月下旬にかけての降雨不足により単収の減少が懸念されていたものの、6月上旬にまとまった降雨があり、7月の猛暑の影響も軽微であったことから、ばれいしょの生育は良好であったとされるも、8月末以降は降雨過多により収穫が若干遅れたということである。

価格動向を見ると、ばれいしょでん粉製造者のAKVによれば、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、欧州域外からの需要が減少し在庫が増加した一方で、欧州全域でばれいしょでん粉生産が良好となったため、価格は下落傾向にあった。この状況を受けてAKVは、2021年のでん粉原料用ばれいしょの作付面積の減少を推奨した。

2. フランス

フランス農業漁業省の統計機関であるAgresteによれば、2016年以降、でん粉原料用ばれいしょの作付面積は横ばいで推移しており、2020年のでん粉用ばれいしょの作付面積は2万3000ヘクタール（前年比4.5%増）とやや増加したものの、夏の干ばつの影響などから生産量は88万トン（同8.1%減）、単収は1ヘクタール当たり37.8トン（同11.7%減）とともに減少した。ただし、灌漑の有無によって生産量にはばらつきが出るため、地域ごとに単収は大きく異なるとしている。

フランスのばれいしょ生産者連盟であるUNPTによると、同国のばれいしょ加工工場はロックダウンの影響を受けて、2020年10月の時点で稼働率は85%程度であった。でん粉を含むばれいしょの産業需要は、COVID-19以前の水準には達しておらず、在庫量が多く、需給のバランスが崩れている。このためUNPTは、収益性の高い栽培区画のみを保持し、その他は穀物やでん粉原料用トウモロコシに転作するなどして、2021年のばれいしょの作付面積を減らすよう農家に呼びかけた。

コラムー表 デンマークおよびフランスのでん粉原料用ばれいしょ作付面積、生産量および単収の推移

(単位：千ha、千トン、トン/ha)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
デンマーク	作付面積	34	39	41	39	57
	生産量	1,472	1,755	1,921	1,689	2,641
	単収	43.8	44.7	46.5	43.9	46.1
フランス	作付面積	23	23	24	22	23
	生産量	971	1,118	957	959	881
	単収	41.8	47.9	39.7	42.8	37.8

資料：デンマーク統計局（Statistics Denmark）、Agreste（フランス農業漁業省の統計機関）

注1：デンマークは専業農家のデータのみ集計。

注2：2020年は暫定値。

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通りである。

タイ

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月からかなり大きく増加するも、前月よりわずかに減少

2021年6月の化工でん粉の輸出量は、9万358トン（前年同月比14.0%増、前月比1.7%減）と前年同月からかなり大きく増加したものの、前月よりわずかに減少した。同月の主要輸先国別の輸出量は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出量（6月）

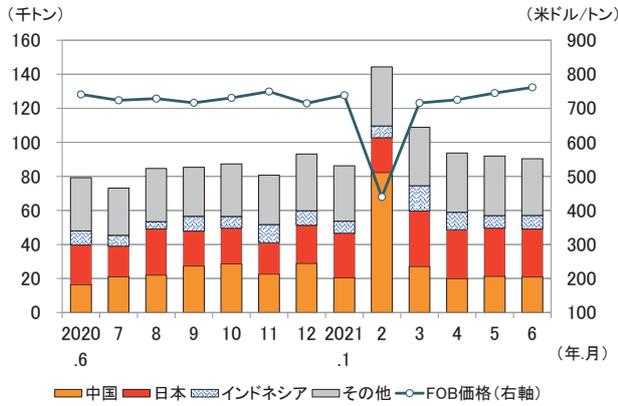
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	90,358	14.0%	▲1.7%
うち 日本	28,077	20.3%	▲0.5%
中国	20,910	27.3%	▲1.8%
インドネシア	8,066	▲1.1%	8.8%
韓国	6,460	▲12.6%	▲21.8%
インド	5,097	92.5%	0.6%
米国	2,918	▲8.3%	7.7%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

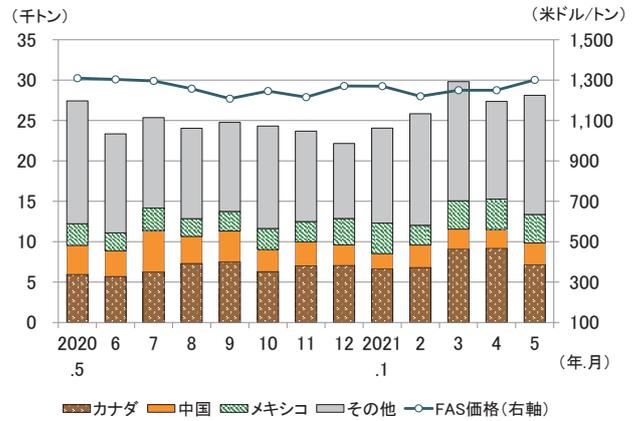
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) タイの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

(参考) 米国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

米 国

【貿易動向】

5月の輸出量、前年同月および前月からわずかに増加

2021年5月の化工でん粉の輸出量は、2万8128トン（前年同月比2.6%増、前月比2.8%増）と前年同月および前月からわずかに増加した。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	28,128	2.6%	2.8%
うち カナダ	7,131	19.6%	▲22.3%
メキシコ	3,536	32.4%	▲5.9%
中国	2,700	▲24.8%	15.8%
ドイツ	1,841	4.0%	57.5%
コロンビア	1,567	2.1倍	86.3%
日本	1,113	21.9%	9.7%

資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

中 国

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月から大幅に増加するも、前月より大幅に減少

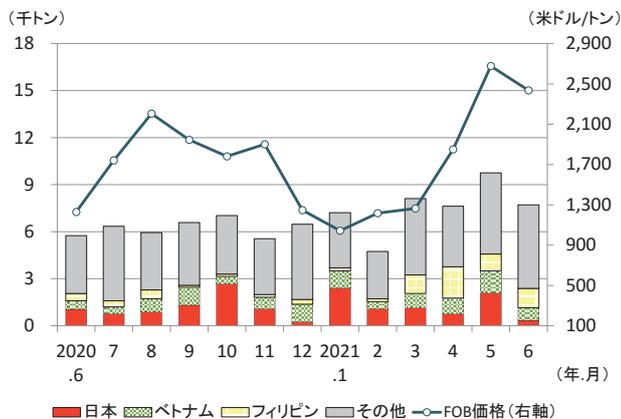
2021年6月の化工でん粉の輸出量は、7708トン（前年同月比34.2%増、前月比21.0%減）と前年同月から大幅に増加するも、前月より大幅に減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	7,708	34.2%	▲21.0%
うち フィリピン	1,231	2.6倍	15.3%
スペイン	880	NA	5.0倍
ベトナム	802	49.6%	▲42.7%
インドネシア	605	2.2倍	86.7%
インド	593	15.6倍	▲33.9%
台湾	591	38.1%	▲10.6%

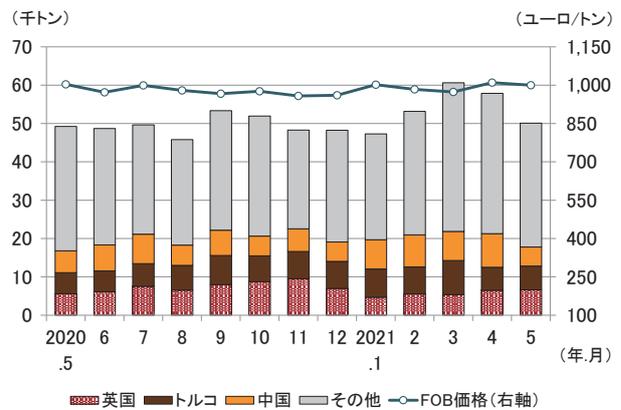
資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。
 注3：「NA」は事実不明なもの。

(参考) 中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

(参考) EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。
 注3：輸出先の不明なものを除く。

E U

【貿易動向】

5月の輸出量、前年同月からわずかに増加するも、前月からかなり大きく減少

2021年5月の化工でん粉の輸出量^(注)は、5万110トン（前年同月比1.7%増、前月比13.4%減）と、前年同月からわずかに増加するも、前月からかなり大きく減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表13の通りである。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	50,110	1.7%	▲13.4%
うち 英国	6,647	19.0%	2.5%
トルコ	6,175	12.1%	2.5%
ロシア	6,017	12.7%	▲7.2%
中国	4,967	▲12.8%	▲43.2%
日本	3,375	10.6%	▲7.8%
韓国	2,301	35.6%	▲36.7%

資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

豪 州

【貿易動向】

5月の輸出量、前年同月から大幅に増加するも、前月からかなりの程度減少

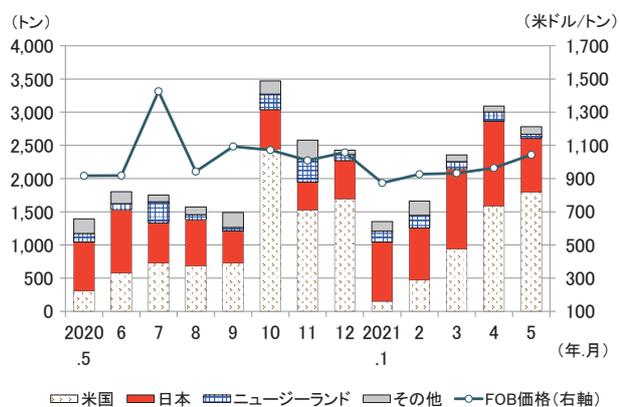
2021年5月の化工でん粉の輸出量は、2780トン（前年同月比99.6%増、前月比10.1%減）と前年同月より大幅に増加したものの、前月比ではかなりの程度減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	2,780	99.6%	▲10.1%
うち 米国	1,795	5.9倍	13.0%
日本	809	9.6%	▲36.5%
南アフリカ	72	NA	33.3%
ニュージーランド	64	▲50.8%	▲54.6%
台湾	36	▲66.7%	前月並
タイ	2	▲88.9%	NA

資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。
 注3：「NA」は事実不明なもの。

(参考) 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。